

【参考資料】

鉄道事業・軌道事業

(1) 改定率一覧

	定期外	定期			合 計
		通勤	通学	計	
鉄 道	5.2%	4.9%	4.9%	4.9%	5.0%
軌 道	11.1%	11.1%	11.0%	11.0%	11.1%

(2) 現行上限運賃と申請上限運賃比較表

①鉄道

○普通旅客運賃（大人）

営 業 キ 口	現行上限運賃	申請上限運賃
0.0 ～ 3.0 キ口	180 円	200 円
3.1 ～ 4.0 キ口	230 円	250 円
4.1 ～ 5.0 キ口	250 円	270 円
5.1 ～ 6.0 キ口	300 円	320 円
6.1 ～ 7.0 キ口	320 円	340 円
7.1 ～ 9.0 キ口	380 円	400 円
9.1 ～ 11.0 キ口	440 円	460 円
11.1 ～ 13.0 キ口	500 円	520 円
13.1 ～ 15.0 キ口	560 円	580 円
15.1 ～ 17.0 キ口	620 円	640 円
17.1 ～ 19.0 キ口	670 円	690 円
19.1 ～ 21.0 キ口	720 円	740 円
21.1 ～ 23.0 キ口	770 円	790 円
23.1 ～ 25.0 キ口	820 円	840 円

○定期旅客運賃（通勤定期1ヶ月）

営 業 キ 口	現行上限運賃	申請上限運賃
0.0 ～ 3.0 キ口	5,810 円	6,280 円
3.1 ～ 4.0 キ口	8,170 円	8,840 円
4.1 ～ 5.0 キ口	9,900 円	10,700 円
5.1 ～ 6.0 キ口	11,880 円	12,680 円
6.1 ～ 7.0 キ口	12,680 円	13,470 円
7.1 ～ 9.0 キ口	15,050 円	15,840 円
9.1 ～ 11.0 キ口	17,430 円	18,220 円
11.1 ～ 13.0 キ口	19,800 円	20,600 円
13.1 ～ 15.0 キ口	22,180 円	22,970 円
15.1 ～ 17.0 キ口	24,560 円	25,350 円
17.1 ～ 19.0 キ口	26,540 円	27,330 円
19.1 ～ 21.0 キ口	28,520 円	29,310 円
21.1 ～ 23.0 キ口	30,500 円	31,290 円
23.1 ～ 25.0 キ口	32,480 円	33,270 円

○定期旅客運賃（通学定期1ヶ月）

営 業 キ 口	現行上限運賃	申請上限運賃
0.0 ～ 3.0 キ口	4,280 円	4,630 円
3.1 ～ 4.0 キ口	5,980 円	6,470 円
4.1 ～ 5.0 キ口	7,200 円	7,780 円
5.1 ～ 6.0 キ口	8,640 円	9,220 円
6.1 ～ 7.0 キ口	9,220 円	9,800 円
7.1 ～ 9.0 キ口	10,950 円	11,520 円
9.1 ～ 11.0 キ口	12,680 円	13,250 円
11.1 ～ 13.0 キ口	14,400 円	14,980 円
13.1 ～ 15.0 キ口	16,130 円	16,710 円
15.1 ～ 17.0 キ口	17,860 円	18,440 円
17.1 ～ 19.0 キ口	19,300 円	19,880 円
19.1 ～ 21.0 キ口	20,740 円	21,320 円
21.1 ～ 23.0 キ口	22,180 円	22,760 円
23.1 ～ 25.0 キ口	23,620 円	24,200 円

②軌道線

○普通旅客運賃（均一制）

現行上限運賃	申請上限運賃
180 円	200 円

○定期旅客運賃（通勤定期1ヶ月）

現行上限運賃	申請上限運賃
7,130 円	7,920 円

○定期旅客運賃（通学定期1ヶ月）

現行上限運賃	申請上限運賃
5,190 円	5,760 円

（3）鉄軌道部門収支

（単位：百万円）

	2022 年度	2023 年度		2024～2026 年度（3 年間平均）	
		現 行	改 定	現 行	改 定
収 入	3,257	3,406	3,521	3,492	3,729
支 出	3,159	3,550	3,549	3,884	3,881
差 引	98	▲144	▲28	▲392	▲152
収支率	103.1%	95.9%	99.2%	89.9%	96.1%

（4）運賃収入内訳

（単位：百万円）

	2022 年度	2023 年度		2024～2026 年度（3 年間平均）	
		現 行	改 定	現 行	改 定
定期外	1,745	1,943	2,021	1,972	2,131
定 期	1,095	1,095	1,132	1,152	1,230
計	2,840	3,038	3,153	3,124	3,361

（5）需要見通し

（単位：千人）

	2022 年度	2023 年度	2024 年度 （推定）	2025 年度 （推定）	2026 年度 （推定）
定 期 外	8,346	9,311	9,403	9,495	9,586
前 年 比	—	11.6%	1.0%	1.0%	1.0%
定 期	7,354	7,359	7,556	7,754	7,950
前 年 比	—	0.1%	2.7%	2.6%	2.5%

(6) 設備投資計画

設備投資計画

(単位：百万円)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度 (推定)	2025 年度 (推定)	2026 年度 (推定)
安全対策	41	66	105	241	277	288	107
サービス改善	110	168	119	428	1,737	1,382	1,241
その他	3	4	15	25	8	10	6
合 計	154	238	239	694	2,022	1,680	1,354

(7) 主要プロジェクトの内容

①新型郊外電車車両の導入

- ・ 目 的 老朽化した車両の代替更新のため、VVVF インバータを搭載した環境にやさしくバリアフリーに対応した新型車両を導入いたします。
- ・ 効 果 低炭素化社会の実現に寄与する消費電力の少ない軽量化車両に更新し、さらなる安全輸送の確保と環境負荷の低減が図られます。

②新型 LRT 車両の継続導入

- ・ 目 的 バリアフリー化の推進、老朽化した車両の代替更新のため、新型低床車両を継続導入いたします。
- ・ 効 果 市内電車をご利用いただく全ての方々の利便性向上に加え、車両修繕作業や経費の削減につながり、安全輸送の確保と経営の健全化が図られます。

③郊外電車変電所の整備

- ・ 目 的 老朽化した変電所を順次更新することにより、郊外電車への電力供給の安定化を図ります。
- ・ 効 果 鉄道をご利用いただく方々に安定した輸送を確保いたします。

④駅の整備

- ・ 目 的 沿線自治体のまちづくりと連携し、老朽化した駅施設の建て替えや修繕時に合わせスロープの整備等、バリアフリー化を計画的に推進いたします。
- ・ 効 果 鉄道駅をご利用いただく方々の安全性や利便性向上が図られます。

(8) これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

これまで、エネルギー価格の高騰に起因する輸送経費が増大する中、有人駅の無人化や業務内容・営業時間変更などによる要員削減、労働条件の見直し、また修繕業務の外注化を行うなど経営の合理化に取り組んでまいりました。

今後も収支の改善を図りつつ、バリアフリー化の推進、老朽化した車両・施設の更新など、継続して安全輸送の確保と利便性の向上に努めてまいります。

（９）運賃・料金の多様化の内容

①伊予鉄MaaS

ICTを活用した移動サービスへの取り組みとして、ジョルダン株式会社の「乗換案内」アプリと連携、スマートフォンで経路検索と同時にキャッシュレス購入して画面提示で乗降できる、四国初の本格的な「伊予鉄MaaS」を導入しました。これにより伊予鉄の市内電車・路線バス等が乗り放題となるフリー乗車券やリムジン乗車券を発売し、多くの観光客にご利用いただいております。

②みきゃんアプリの導入

「県内のイベント情報を知る」「公共交通機関で目的地まで移動する」「イベント・観光施設で体験する」のすべてをシームレスに繋ぐ県民アプリを市内電車などにご利用いただけるよう導入いたしました。今後も利用いただける交通券を多様化し利便性の向上を図ります。

（１０）利用者サービスの向上策

①鉄道線新型車両導入

VVVFインバータを搭載した新型車両を導入することにより、利用客への快適な移動を提供し、環境への負荷低減にも貢献いたします。

②新型LRT車両の導入

現在12両導入しております市内電車の低床車両5000形を今後も継続して導入し、バリアフリー化を推進し利便性を向上いたします。

③運転保安度の向上

重軌条化・PC枕木の設置・軌道修繕工事等、順次実施して輸送の安全確保に努めます。

④駅舎のリニューアル、バリアフリー化の推進

老朽化した駅舎を計画的に改築し、点字ブロックやスロープなどを新設してバリアフリー化を推進し、皆さまにご利用いただきやすい駅を目指し旅客サービスの向上を図ります。

以 上